

平成 24 年 3 月 23 日

小国地域委員会 第 1 分科会中間報告

【メンバー：中村官、山崎豊志、山崎広子、今井則子、山田晴美、角山徳郎 計 6 名】

テーマ：「シンポジウムの思いを継続するための事業検討」

地域委員会第 1 分科会では、H23 年 7 月 3 日に開催された「これからの医療と福祉考えるシンポジウム」を踏まえて、シンポでの基調講演やパネルディスカッションの内容、さらに参加者アンケートから課題を検討し、このシンポを一過性に留めることなく継続させていく視点で捉え、具体的な事業や活動の必要性を検討することになった。

【分科会の開催経過及びその他関係会議への出席状況】

第 1 回	H23. 7.20(水)	6 名	・分科会メンバーの決定、テーマについての検討
第 2 回	H23. 9. 7(水)	6 名	・部長(角山)、副部長(中村)の選任、テーマについての話し合い継続
第 3 回	H23.11.17(木)	6 名	・具体的で実行可能な事業の提案（働き盛り世代と高齢者対策）
第 4 回	H23.12.20(火)	4 名	・H24 年度ふるさと創生基金事業への提案について検討 ①元気な小国を育てる事業 ②高齢者元気支援事業
	H24. 2. 3(金)	3 名	(仮) 元気な小国を育てる事業実行委員会への参加
第 5 回	H24. 2.21(火)	6 名	・ふるさと創生基金事業について、分科会として担当者を分担して主体的に関わることを確認する ①元気な小国を育てる事業（角山、中村、山田、今井） ②高齢者元気支援事業（山崎(豊)、山崎(広)、角山) ※上記の実行委員会へ地域委員会第 1 分科会として参加する
	H24.3.6(火)	4 名	第 2 回元気な小国を育てる事業実行委員会に参加

【意見交換の視点】

- ・シンポを開催した以降の課題の整理、議論を深めてほしいとの要望もあり掘り下げていく必要がある
- ・小国地域総合センターが出来れば、一箇所に集うことで交流が盛んになる
- ・高齢化対策（在宅福祉サービス、在宅での安心安全、夜間安心コール）の充実
- ・小国診療所の存続が重要（診療所の受診者が減少傾向にある）
- ・医療施設（診療所、横田クリニック）の充実と利用の促進
- ・民生委員からの問題点、若い人からの参加を促す、核家族化の解消
- ・家族介護から介護の社会化へ
- ・各種活動を活発に、「男性」の参加促進

H24年度の具体的な取組み事業として、以下のとおり提案することになった。

◆元気な小国を育てる事業

- 【趣旨】 働き盛り世代は、仕事や子育てに多忙で運動不足や食生活に偏りが生じやすく体力低下や生活習慣病予備軍等、子供たちにも影響が出やすいため、食に関する講演会とウォーキング大会を実施し運動を始める動機付けの機会としたい。
- 【日時】 平成24年7月1日（日） 9：00～14：00
- 【会場】 小国会館 多目的ホール及び地域内ウォーキングコース
- 【内容】 食育に関する講演会、ウォーキング、ニュースポーツ紹介
- 【効果】 広い世代に運動や食事を通じた健康づくりの普及啓発が図れる
- 【その他】 より多くの参加者を募る観点から、学校主催の「地域連携フォーラム」も共催を検討中

◆高齢者元気支援事業

- 【趣旨】・高齢化の顕著な小国地域
- ・当地域で、いつまでも自立した生活が送れるよう介護予防や健康づくりが切実になっている。
 - ・これまで以上に、住民と関係機関が協働して問題解決に当ることが重要
- 【内容】
- ・福祉関係機関によるワークショップと住民参加のワークショップの企画開催
 - ・後期高齢者向けけんこつ体操教室の立ち上げと既存教室の参加者を増やす取組み
 - ・地域型介護予防サービス修了者の集まりを立ち上げる
 - ・けんこつ体操インストラクターの育成
 - ・上記を、地域住民に知らせるための「PR通信」の発行
- 【期間】 H24年4月～H25年3月（*年間を通しての取組み）
- 【会場】 小国地域総合センターを主な会場とする
- 【効果】 ①高齢者にとって体操教室や集える場が増える
②健康な高齢者の増加と質が向上